

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 11	中期総合計画主要施策番号		3-02,5-06		担当課	部・課	衛生部 医療政策課	
事業名		へき地診療所設備整備事業				内線		2620		
						E-mail		iry@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	へき地診療所の開設者が行う医療機器の整備事業に対して補助し、へき地における医療提供体制の整備を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・へき地診療所は、無医地区等における医療の確保のため、県内45か所に設置されている。 ・へき地は都市部と比較して高齢化の進展が早く、住民に対する医療提供体制の整備が重要だが、施設・設備の整備が進んでいない。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 へき地診療所は都市部の医療機関に比して受診患者数が少なく、収入規模が小さいため、医療機器の整備に当たって医療機関の開設者の負担が大きい。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 へき地診療所の設備の整備に対して補助することにより、へき地における医療提供体制を整備する必要がある。								
		事業内容 へき地診療所の開設者が行う医療機器の整備事業について補助する。(補助率:【国】1/2)								
		実施期間		S61 ~		根拠法令等	医療施設等施設整備費補助金交付要綱			
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
へき地診療所の設備の充実による、へき地における医療提供体制の整備を図る。		へき地診療所の医療機器の整備に対して助成する。(1施設)			へき地診療所の医療機器の整備に対して補助した。(1施設)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,811	2,291	1,927	国庫・県単 国庫			
	決 算 額 (B)		千円	1,181	2,047		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別 内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.03	0.03	0.03	・補助金:2,047 (単位: 千円)			
	概算人件費 (C)		千円	214	214	214				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,395	2,261	2,141					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	設備整備箇所数		施設	1	1	1				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・補助に対するニーズは横ばい。 ・医療機器の整備には多額の経費を要し、県が関与して事業者に助成することは必要。 ・事業内容は事業者から提出される事業計画を精査して判断しており、当面、有効性・効率性を高める余地はない。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
課題の総括		へき地診療所は、収入規模が小さく、経営的に苦しいため、医療機器等の整備が十分に行われない傾向にある。このため、へき地診療所の経営上の負担を軽減するため、引き続きへき地診療所の設備整備に対して支援をしていく必要がある。								